

鹿児島県漁海況週報

平成30年9月20日発行(9月13日～9月19日)
第2772報【旧暦:8月4日～8月10日/月齢3.4～9.4/潮汐:中潮～長潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、9月18日現在、平瀬の北4.8マイル付近にある。

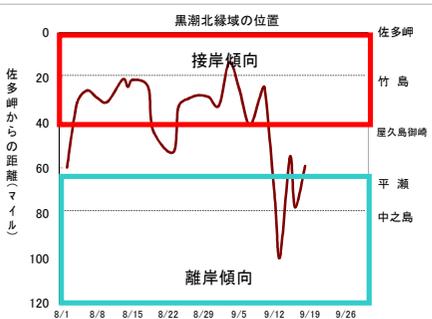
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、9月18日現在、29マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、甌海峡で変わらず、その他の海域で0.3～1.6℃昇温した。

平年比較では、黒潮流域、中之島、甌海峡で“かなり高め”、鹿児島で“平年並”、その他の海域で“やや高め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	29.4	+1.1	+0.9	かなり高め
鹿児島	27.0	+0.5	+0.2	平年並
佐多岬	27.9	+0.5	+0.8	やや高め
竹島	28.2	+0.3	+0.6	やや高め
屋久島御崎	28.6	+0.4	+0.7	やや高め
中之島	29.3	+1.6	+1.2	かなり高め
笠利崎	28.8	+0.5	+0.9	やや高め
与路島	28.6	+0.6	+0.5	やや高め
与論	29.0	+0.7	+0.8	やや高め
甌海峡	28.1	+0.0	+1.4	かなり高め

鹿児島一那覇定期客船観測は9/18-19
串木野一甌定期客船観測は9/19

【漁況】

○定置網

西薩南部海域では、サワラ(200～300g)が1.5トン/日、トビウオ類(230g)が350kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ヤマトカマス(100～130g)が0.3～1.3トン/日、キンガマシ(2.3kg)が150～450kg/日、カンパチ(2.3～2.6kg)が100kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、ムロアシ類(200～400g)が45～80kg/日、トビウオ類(200～300g)が30～60kg/日の入網。大隅半島東部海域では、週計で39統がカマス類、ウルメイワシ、サハ類小主体に48トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でタチウオ、ヘダイ、ヤマトカマス主体に9.5トンの入網。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、6～12箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、10箱/隻・日の漁。種子島海域では、7～8箱/隻・日の漁。

○ブリ飼付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、3～4kgサイズを5～100尾/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の記事に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2723報)

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期		
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	4	145	天草沖 縄瀬	サハ類豆39	36.2	5	206	8	451
		中	37	217	長島 縄瀬 野間池沖	ウルメイワシ22 マジ仔18 サハ類小11	5.9	26	305	25	289
	枕崎	大	11	537	鷹島	ゴマサバ豆53 ゴマサバ大23 マサバ大15	48.8	5	279	9	357
		中	21	591	鷹島 草垣内之浦沖	ゴマサバ豆67 マジ中小11 ゴマサバ大7	28.1	16	470	14	401
	内之浦	中	0	—			—	0	—	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
	計	大	15	682			45.5	10	485	17	808
中	58	808				13.9	42	775	39	690	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
枕崎	0	—				—	1	43	1	56	
棒受網	阿久根	63	197	阿久根沖 長島	ウルメイワシ83 キビナゴ12	3.1	38	111	91	222	
内之浦	0	—				—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	39	48		カマス類27 ウルメイワシ23 サハ類小23	1.2	37	33	39	36	
刺網	阿久根	47	5	甌 阿久根沖 牛深沖	キビナゴ100	0.1	54	5	72	15	
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	大	0	—			—	0	—	0	—
		小	0	—			—	0	—	0	—
		海旋	0	—			—	5	3040	1	182
	山川	中	2	7		キハダ74 カツオ小25	3.6	0	—	2	10
		海旋	2	855		カツオ小93	427.5	2	1837	2	1148

○トビウオロープ曳網

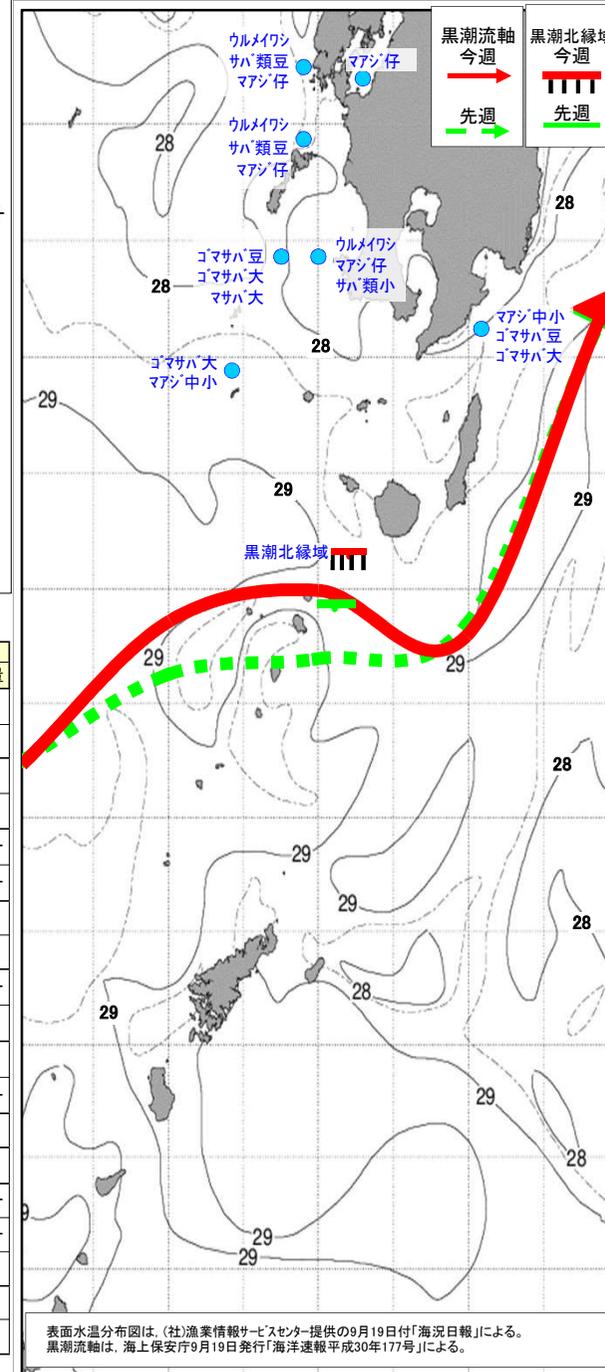
種子島海域では、中トビを50～100箱/統・日の漁。屋久島海域では、中トビを35～54箱/統・日の漁。

○パシヨウカジキ情報

流し網では、甌島海域で20～40kgを1～6尾/隻・日、西薩海域で18～40kgを1～10尾/隻・日、西薩南部海域で16～24kgを5尾/隻・日の漁。定置網では、西薩南部海域で20kgが15尾/日、鹿児島湾口部薩摩半島側で27kgが週計で2尾の入網。

○その他

西薩海域では、底曳網でツキヒガイ(100g前後)を80～100kg/隻・日の漁。一本釣りでカンパチ(0.5～1kg)を10～50kg/隻・日の漁。刺網でイセエビ(200～400g)を1～30kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒゲナガエビを50～100kg/隻・日、ツキヒガイ(100g前後)を20～70kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網でマダイ(2～3kg)を10～20尾/隻・日、カイワリ(200～300g)を20kg/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りの2～3日操業でハマダイ(1～6kg)を300kg/隻、アオダイ(800g)を50kg/隻の漁。奄美南部海域では、旗流しの2日操業でキハダ(10～20kg)を450kg/隻の漁。延縄の3日操業でタチウオ(1.5kg)を200kg/隻、ムツ(2kg)を80kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の9月19日付「海況日報」による。黒潮流軸は、海上保安庁9月19日発行「海洋速報平成30年177号」による。